

低 価 格 理 由 と そ の 詳 細 内 容

番号	低価格理由	低 価 格 理 由 の 詳 細 内 容
①	資材費(機器単体品含む)の低減	自社製品・自社販売品の使用、手持ち資材(仮設材)、材料及び単体品メーカー等との取引実績、長年取引先からの購入、大口購入による低減、資材保有の下請を使用
②	労務費の低減	直備作業員の使用、自社従業員・社員の活用
③	機械経費の低減	設備投資を行った、最新鋭の加工機械を使用。この設備投資による工場稼働率・生産性の向上を図る。
④	新材料・新技術	新機械・新機種の使用、新施設の開発・利用、研究開発材料の使用
⑤	作業効率の向上	同種工事实績による工事費の低減、熟練技術者の配置、得意分野の工事、施工個所が集中、経験豊富による効率化施工
⑥	下請業者の協力	専門下請の使用、専属下請の保有、閑散期による協力、下請所有の土地・建物を活用、長年取引による協力
⑦	経費の低減	同種工事・近接工事による経費低減、間接経費の低減、地域特性・地盤特性を熟知、山間部工事
⑧	現場管理費低減	管理費等の縮減、管理費の年間固定制、現場管理費の本社負担、工期短縮、社員の兼務
⑨	安全資機材低減	使用済み保安施設・用品の使用、手持ち安全施設
⑩	本支店経費の低減	I T化による一般管理費の縮減
⑪	利益の低減	最小限の利益確保、企業努力、役員報酬の低減
⑫	受注実績の取得	大口径ジェットファンの受注実績づくり、営業活動の成果が欲しい
⑬	売上の確保	売上高の確保、下請会社の維持、会社経営上
⑭	その他	見積りに同種工事の実績を適用